

春高同窓会だより

平成22年 5月17日

第 40 号

埼玉県立春日部高等学校同窓会
発行 荒木 貞行
編集 中村 戸井田

〒344-0061
埼玉県春日部市粕壁5539
TEL 048-760-1627
FAX 048-760-1628
印刷 望月印刷株式会社
さいたま市中央区阿部5-8-36

〈同窓会ホームページ〉
www.os.rim.or.jp/kasukoga

〈メールアドレス〉
kasukoga@os.rim.or.jp

近隣諸国との共栄を訴え

黒田安昌さん(ハワイ大)が講演

今年の同窓会総会は、恒例の6月4日曜・6月27日に、本校の音楽ホールで開催される。総会幹事支部と招待学年の役員による総会準備会が2月6日に開かれて、たくさんの方々に出席していただけるよう具体的な方策を協議した。



講師の黒田安昌さん

〔日時〕平成22年6月27日(日)

午後2時～6時

〔会場〕本校音楽ホール、他

〔総会〕午後2時～ 昨年度事業・決算報告、今年度事業案・予算案審議、本部役員改選等

〔講演〕午後3時半～ 演題

「毛虫から学び、脱皮への道を探る」講師／黒田安昌さん(高3回、ハワイ大学名誉教授)

〔懇親会〕午後4時20分、会費自己負担3千円(招待者を除く、当日受付で戴く)

〔出席申込〕出席者名簿や名札の準備があるので返信用ハガキで早めに連絡をお願いしたいと事務局は望んでいる。

〔ホーム・カミング・デー〕総会には「第21回ホーム・カミング・デー(母校に帰る

日) (HCD) として、次の卒業学年が招待される。▽卒業後50年の高13回と定時制13回、岩槻分校普通科9回、同別科7回▽今年50歳の高31回と定時制31回▽今年40歳の高41回と定時制41回の皆さん。

また平成21年度の賛助金納入の2百42人も招待される。以上の方にささやかな記念品を差し上げ、懇親会に招待する。

〔講師紹介〕昭和6年東京に生まれ、八潮市に移住。早稲

田大学を中退し渡米。皿洗いをしながらオレゴン大学、プリストン大学等で学び、昭和37年オレゴン大で政治学博士号を取得。カルフォルニア大学やハワイ大学などで教鞭をとる。平成14年に帰国後、早稲田大学客員研究員。慶応大学の中東世論調査の学外協力者として、データ分析、執筆、講演活動を続ける。専門分野は、比較世論調査、政策

リーダー輩出を期待 文科省のSSH 指定校に

本校は、今年度から文部科学省の科学振興事業の「スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH)」に指定されて、全校あげてその指導の取り組みを始めた。目的は「充実した数

学・理科の学習によって、意欲と学力を高め、主に理系の大学・大学院へ進学し、将来企業や研究施設で科学技術の研究開発等に携わって、日本や世界のリーダーとなる人材を輩出すること。」

具体的な内容は、▽学年に該当の2クラスを編成(今年度の1年生)▽数学や理科の授業時数を増やして、学習指導要領を超えた高いレベルの少人数学習や実験・実習、研究テーマを設定した「課題研究」などの授業▽英語や情報の授業に国際交流やプレゼンター

決定過程・構造など。英語、アラビア語等の著書・論文が多数。邦訳書「地方都市の権力構造」(勁草書房)。

「醜い毛虫も脱皮してきれいな蝶に生まれ変わるのが自然の繰り返し。私たちも自然界から学び、近隣諸国と平和に共存・共栄できるよう脱皮したい。講演でこんなことを皆さんと一緒に考えてみたい」という。横浜市に在住。

名簿の残部があるので、希望者は連絡してほしい」と事務局は望んでいる。

シオン等を導入▽保健体育の授業で動作解析や戦術分析に取り組み▽大学教授等による先端科学技術の講義▽大学の研究室や企業等の最先端研究施設への訪問(土曜日や長期休業中等)▽さらに国際交流を進める▽地域の理数教育の拠点校としての活動など。

「卒業生の皆さんには、特別講義の講師や研究施設の紹介・案内などのご協力と、小中学生の理数学習や地域の方への科学技術についての情報提供でのご協力もお願いしたい」と学校側では望んでいる。

労働を受ける。本校には昭和55年から平成5年まで勤務。

北村薫さんの話 多くの人たちに支えられて、ここまでこられたので恩返しができた(昭和初期を舞台にしたのは「歴史の日常」の危うさを描いてみたかったから。「日常の中にある非日常」「非日常の中にある日常」を書きたかった。

遊馬画伯が
絵画を寄贈

母校の創立100周年を記念して、遊馬正画伯(中39回、岩槻区)から、絵画「Autumn's Jewels」(50号)が本校同窓会に寄贈された。本校の展示ギャラリーに展示されている。

同画伯は、38年ほどニューヨーク画壇で活躍したが、寄贈された作品はハドソン河流域の風景を題材に制作したものひとつ。「磨かれた感性によって、原色に近い大胆な色使いと静寂さを漂わせている優れた作品」と評されている。

学校主催の創立100周年記念式典が昨年10月24日に開かれたが、同年夏に第百41回の直木賞を受賞した作家北村薫さん(高20回、本名:宮本和男、元本校教諭)が、「読むこと・

書くこと」というテーマで記念講演を行った。受賞作品は『鷲と雪』、昭和初期の上流家庭の令嬢と女性運転手が事件の謎を解く3部作の完結編。埼玉県から彩の国学術文化功

学校主催の創立100周年記念式典が昨年10月24日に開かれたが、同年夏に第百41回の直木賞を受賞した作家北村薫さん(高20回、本名:宮本和男、元本校教諭)が、「読むこと・

充実した環境シンポ

創立百10周年の記念事業

本校創立百10周年の同窓会記念事業が、21年10月に盛大に行われた。メインの環境シンポジウムは、「みんなで考える地球環境―地域社会と市民が行う温暖化対策―」というテーマのもと、昨年10月25日佐久間健さん(副会長、高14回)の司会で音楽ホールで

開かれた。日向英実さん(NHK放送総局長・高20回)の基調講演の後、日向さんを含め以下4人のパネリストの熱いこもったパネルディスカッションが展開された。▽倉上皖教さん(北川辺町長・高14回)▽平井信行さん(NHK気象予報士)▽鳥井喜代美さん(市

民代表)▽柴垣保平さん(大和ハウス工業(株))。一般参加者から、「さすが春高ですね、とても充実していました」という声がたくさん聞かれた。閉会後、庄和大風文化保存会の染谷幹夫さん(高17回)から出演者に名前入りの風が贈られて、喜ばれた。なおシンポ

ジウムの模様を収録してDVD2枚に収めてあるので、借りたい希望者は同窓会事務局まで連絡してほしいとのこと。その後、会場を市内のアクシス春日部に移して、記念祝賀会が開かれた。会の冒頭と最後に、ソプラノ歌手・家田紀子さんが声量たっぷりのアリアを披露したが、特に春高校歌の独唱には参加者がしんと聴き入っていた。

また、記念事業のひとつとして同窓会名簿の整理事業と

学校主催の創立100周年記念式典が昨年10月24日に開かれたが、同年夏に第百41回の直木賞を受賞した作家北村薫さん(高20回、本名:宮本和男、元本校教諭)が、「読むこと・

書くこと」というテーマで記念講演を行った。受賞作品は『鷲と雪』、昭和初期の上流家庭の令嬢と女性運転手が事件の謎を解く3部作の完結編。埼玉県から彩の国学術文化功

▼創立110周年記念事業として昨年10月に発行された「同窓会名簿」(B5版、約850頁)の残部があります。ご希望の同窓の方は事務局までご連絡ください(TEL 048-760-1627)。名簿整理事業負担金として1口5,000円をいただきます。なお個人情報保護のため、同窓生の方だけに限定させていただきます。

新教頭に関根務先生(高27)

職員事
教人



教頭の関根務先生

▼転退職の教職員(敬称略)

《全 日制》
 武正章(教頭) 県教委人事課へ
 稲上聖(国語) 定年退職
 青木正人(理科) 宮代高へ
 加藤友信(情報・高29回) 開智未来高へ

▼新任の教職員(敬称略)

《全 日制》
 関根務(教頭・高27回) 三郷高から
 池田泰(理科・高34回) 越ヶ谷高から
 小原勝(社会) 松伏高から
 諸井寛(理科) 不動岡高から
 齋藤聡(数学・高32回) 白岡高
 戌亥尚子(英語) 越谷東高から
 根岸優(保体・高45回) 川口東高から

《定 時 制》

鈴木しずか(事務) 久喜工高へ
 野中和子(担当課長) 幸手商へ
 大野理津子(英語) 退職
 早川友規(国語) 越谷高定へ
 高橋啓(社会) 三郷工技高へ
 滑川良太(数学) 浦和工高へ
 寺田絵里子(養護) 芝東小へ

《全 日制》

黒田幸治(美術) 春女高から
 足立佳子(養護) 大宮東高から
 生方美代(実習助手) 浦和西高
 戸頃良子(事務主事) 越谷北高
 濱野教子(事務主事) 花崎小
 染谷佳代子(司書) 越谷北高
 上田のり子(業務) 春女高から
 伊澤道夫(国語) 新採用
 島田康宏(理科) 新採用
 深谷かおる(理科) 新採用
 渡辺のり子(家庭) 新採用

《定 時 制》

森泉孝(担当課長・高29回) 幸手商高定から
 谷口洋三(英語) 幸手商高から
 野口博史(数学) 熊谷工高から
 遠藤羽弓(国語) 新採用
 中村伸一郎(社会) 新採用
 永瀬洋子(養護) 騎西特支から

各地で春高会

- ▼八潮春高会総会 20人
- ▼幸手春高会総会 やぶそば 26人
- ▼大宮支部総会 義語家 45人
- ▼三遊亭楽生の落語会 清水園
- ▼上尾伊奈支部総会 32人
- ▼伊能睿(高16回)さんの講話 県活セ 21年6月7日
- ▼久喜春高会総会 47人
- ▼新井政彦(高20回)さんの講話 21年6月13日 三高サロ
- ▼宮代春高会総会 47人
- ▼21年6月20日動物公園GS 島村栄一郎(中37回)さん講話
- ▼杉戸春高会総会 18人
- ▼吉川支部総会 白龍 18人
- ▼福寿家 21年6月27日
- ▼岩槻支部総会 49人
- ▼21年7月12日 市民会館 大塚潤一さんの講話
- ▼蓮田春高会総会 34人
- ▼21年9月6日 米屋 三浦眞之丞(高6回)さん講話
- ▼鷲宮春高会総会 21人
- ▼21年9月26日 東コミセン 白岡支部総会
- ▼21年10月10日 エミナース 県庁春高会総会
- ▼21年10月13日ワシントンH 野田支部総会
- ▼21年10月17日 紫乃 25人
- ▼葛蒲春高会総会 10人
- ▼21年11月1日 大浜 北海道春高会総会
- ▼21年11月7日 吉翔 12人
- ▼春日部春高会総会 40人
- ▼21年11月8日 やまや新館 平原隆秀(高9回)さん講話
- ▼栗橋地区春高会総会 36人
- ▼21年11月8日 イリス 白石光征(高14回)さん講話
- ▼東京春高会総会 55人
- ▼21年11月13日 KKRホ 横浜春高会総会
- ▼21年11月15日 順海閣 増沢修(高7回)さんの講話
- ▼庄和春高会総会 25人
- ▼21年11月21日 庄和飯店 新井一裕(高5回)さん講話
- ▼関西春高会総会 25人
- ▼21年11月28日シイフア 伊藤純(高27回)さんの講話
- ▼幸手春高会忘年会 30人
- ▼21年12月7日 渡辺家 三遊亭楽生の落語会
- ▼越谷支部総会 128人
- ▼22年2月11日 コミセン 春日部春高会懇親会
- ▼22年2月21日 やまや新館 菊地正志(高29回)さん講話
- ▼松伏春高会総会 16人
- ▼22年2月28日 石塚家 吉田和夫(高9回)さん講話
- ▼草加春高会総会 35人
- ▼22年4月25日 商工会館 浦和春高会総会
- ▼ワシンH 22年5月15日
- ▼北川迎春高会総会かたやま 22年5月15日 30人

各学年の同期会

- (事務局に連絡のあった会々)
- ▼高10回同期会 73人
 - ▼21年6月14日 宮代とね
 - ▼高9回同期会旅行 40人
 - ▼21年9月28日 鬼怒川温泉
 - ▼高8回同期会 80人
 - ▼21年10月4日 岩槻寿々家
 - ▼高6回同期会 60人
 - ▼21年11月6日 三高サロ
 - ▼高16回同期会 67人
 - ▼22年4月24日 やまや新館

早・明・東理で健闘

難関国公立は苦戦

大学入試

今春の大学入試は、難関私立大で健闘をみせたが、難関国公立大では厳しい結果に終わった。進路指導部の宮内謙志先生は「私立大では、早稲田、明治、東京理科で昨年を上回る好成績を出した。しかし、難関国公立大で厳しい結果になったのが、とても残念だ」と語っている。

同窓会費(旧終身会費)納入の方々

- ▼同窓会費(旧終身会費) 1万円納入者 (敬称略)
- 《21年4月1日〜22年3月31日》
- 《上尾》黒田直和
- 《岩槻》柴澤徹、鈴木貞夫
- 《浦和》荒船弘三、白木博信、祐川興基
- 《大宮》石鍋尚夫、大成俊二、中島孝、西川和利、町田誠、三角幸雄、森田諭、柳田英樹
- 《春日部》小島務、小室尚彦、嶋根義彦、鈴木敏仁、田中毅一、田中稔久、田中義久、田中豊久、松本誠司

川口 白井良典、田村克巳

- 《北川辺》大澤初夫
- 《久喜》野原宏、山田良男
- 《熊谷》小林功
- 《越谷》植竹一翁、高橋扶明
- 《鴻巣》関根三彦
- 《幸手》石塚一郎、稲星昭寿、高橋英一
- 《杉戸》須藤満
- 《草加》杉山秀一、波多野淳

蓮田 関根昇司、細田光彦

- 《松伏》植竹正文、安武忠正
- 《宮代》小林成光
- 《吉川》飯野保男、藤縄祐
- 《茨城》小野寺広、藤沼庄平
- 《沖繩》宮崎政久
- 《東京》岩郷俊幸、勝沼靖、丸山弘尚、山田昭典
- 《千葉》大森雅彦、蓮見博之、

宮武真一、山口功、米川司

- 《名古屋》斎藤昇
- 《三重》江口次雄、村山悦裕、露峰茂明
- 《宮城》玉津義伸
- 《横浜》折原育三、水島敏雄
- ▼新卒卒業生 64人
- ▼年会費(1千円)納入者 360人

総計 52人

- ▼総計 4百29万2千円
- ▼5万2千円
- ▼2万2千円
- ▼1万5千円
- ▼1万2千円
- ▼1万円
- ▼8千円
- ▼7千円
- ▼6千円
- ▼5千円
- ▼4千円
- ▼3千円
- ▼2千円
- ▼1千円
- ▼500円
- ▼200円
- ▼100円
- ▼50円
- ▼20円
- ▼10円
- ▼5円
- ▼1円
- ▼その他

6月5日(土)に 大宮支部の総会

- ▼日時 6月5日(土)18時
- ▼会場 さいたま市清水園
- ▼会費 1万円
- ▼申込 高橋正次支部長宅
- ☎ 663-0306

▼転居などで住所が変更になった時は、電話番号も含めて事務局までご連絡ください。(TEL 048-760-1627)。また知人や同期生が逝去された時もご連絡ください。通夜や告別式に間に合えば、弔電をお送りします。

関東に6部が進出

8部が全国大会に出場

21年度 年活 21部

陸上競技部

関東大会県予選▽やり投③
黒須貴浩55.49▽4百mH④
高石彰▽100mH⑥高石彰▽
関東大会(栃木)▽やり投④
黒須貴浩55.50(全国総体出
場)▽国体県予選会▽円盤投
⑤天野大樹▽県新人大会▽3
千障害①大久保誠吾9分42秒
59▽2百m④吉澤孝幸▽5千
m競歩⑤安多敬之▽関東選抜
新人大会(千葉)▽3千障害
②大久保誠吾9分36秒07

会1石和(山梨)10▽8春高
▽全国総体(奈良)個人1森
下直哉・準決勝進出
▽関東大会県予選11団体準優
勝▽関東大会(茨城)リーグ
戦11春高4▽0日本航空(山
梨)荏田(神奈川)4▽0春
高▽全国総体県予選11団体戦
16強▽県新人大会準々決勝11
春高2▽2秩父農工(8強)

選2回戦11春高116▽81大宮南
準決勝11春高60▽57豊農大三
決勝11昌平78▽69春高▽全国
選抜大会県予選・準決勝11西
武文理80▽74春高▽県新人大
会2回戦11春高93▽63越谷南
3回戦11春高77▽64白岡、4
回戦11春高72▽63埼玉栄、決
勝リーグ11正智深谷103▽73春
高、昌平55▽38春高、春高90
▽66西武文理(3位)

【水泳部】
県スプリント競技大会▽2
百mメドレーR⑤春高▽総体
県予選▽2百m背泳⑤田中▽
関東大会(栃木)▽4百mメ
ドレーR出場▽2百背泳・4
百mR出場▽全国大会(大阪)
▽4百mメドレーR出場▽県
新人大会▽2百mR⑤春高▽
4百mR⑥春高

【バスケ部】
▽関東大会県予選11団体8強
▽個人S堀中8強▽関東大会
(山梨)▽個人S1回戦11大
谷(茨城)3▽1堀中▽全国
選抜大会県予選▽団体6位

▽関東大会県予選▽団体2回
戦11春高3▽0浦和実▽3回
戦11春高2▽1所沢▽4回戦
11市立川口2▽1春高▽県新
人大会▽団体2回戦11春高3
▽0大宮▽3回戦11春高2▽
0川越▽準々決勝11春高2▽
1熊谷工▽準決勝11武蔵越生
2▽1春高(4強)

【弓道部】
▽関東大会県予選11団体4位
▽全国総体県予選11個人①森
下直哉、団体⑤春高▽関東大

【テニス部】
▽関東大会県予選11団体3回
戦11慶応志木2▽0春高▽県
新人大会▽団体4回戦11春高
4▽1伊奈学園▽準々決勝11
浦和学院4▽1春高(8強)

【ハンドボール部】
▽総体県予選11回戦11春高
28▽17大宮▽3回戦11浦和学
院31▽14春高▽県新人大会2
回戦11春高20▽13開智▽3回
戦11越谷西22▽17春高(8強)

【卓球部】
▽関東大会県予選▽団体8強
▽個人S堀中8強▽関東大会
(山梨)▽個人S1回戦11大
谷(茨城)3▽1堀中▽全国
選抜大会県予選▽団体6位

【ソフトテニス部】
▽関東大会県予選▽団体2回
戦11春高3▽0浦和実▽3回
戦11春高2▽1所沢▽4回戦
11市立川口2▽1春高▽県新
人大会▽団体2回戦11春高3
▽0大宮▽3回戦11春高2▽
0川越▽準々決勝11春高2▽
1熊谷工▽準決勝11武蔵越生
2▽1春高(4強)

【柔道部】
▽関東大会県予選11団体戦16
強▽全国選手権県予選11団体
戦32強

【ハンドボール部】
▽総体県予選11回戦11春高
28▽17大宮▽3回戦11浦和学
院31▽14春高▽県新人大会2
回戦11春高20▽13開智▽3回
戦11越谷西22▽17春高(8強)

【バレーボール部】
▽関東大会県予選2回戦11大
宮東2▽0春高▽総体県予選
2回戦11春高2▽0鷲宮、3
回戦11大宮東2▽1春高▽春
高県予選2回戦11春高2▽0
市立川口、準々決勝11正智深
谷2▽0春高(第5位)

【ラグビー部】
▽関東大会県予選1回戦11熊
谷工業10▽10春高▽国体県予
選1回戦11川口北12▽5春高
▽全国大会県予選2回戦11春
高47▽0科学技術学園、3回
戦11慶応志木20▽3春高▽県
新人大会1回戦11川越26▽20
春高

【柔道部】
▽関東大会県予選11団体戦16
強▽全国選手権県予選11団体
戦32強

【ハンドボール部】
▽総体県予選11回戦11春高
28▽17大宮▽3回戦11浦和学
院31▽14春高▽県新人大会2
回戦11春高20▽13開智▽3回
戦11越谷西22▽17春高(8強)

【バレーボール部】
▽関東大会県予選2回戦11大
宮東2▽0春高▽総体県予選
2回戦11春高2▽0鷲宮、3
回戦11大宮東2▽1春高▽春
高県予選2回戦11春高2▽0
市立川口、準々決勝11正智深
谷2▽0春高(第5位)

【体操部】
▽関東大会二次予選▽団体5
位(武蔵、佐藤、高木、友田)
▽全国総体県予選▽団体5位
▽県新人大会▽団体5位(板
垣、吉村、近藤、河村)

【体操部】
▽関東大会二次予選▽団体5
位(武蔵、佐藤、高木、友田)
▽全国総体県予選▽団体5位
▽県新人大会▽団体5位(板
垣、吉村、近藤、河村)

【バドミントン部】
▽関東大会県予選▽団体2回
戦11春高2▽0桶川▽3回戦
11武蔵越生2▽1春高▽県新
人大会▽団体戦11春高3▽0
坂戸、川口東3▽2春高

【サッカー部】
▽全国選手権県一次予選▽2
回戦11春高4▽0越谷▽プロ
ック決勝11春高4▽0大宮北
▽同二次予選▽1回戦11西武
文理4▽0春高

【バドミントン部】
▽関東大会県予選▽団体2回
戦11春高2▽0桶川▽3回戦
11武蔵越生2▽1春高▽県新
人大会▽団体戦11春高3▽0
坂戸、川口東3▽2春高

【美術部】
▽全国総文祭三重大会(21年)
出品11太田潤▽県美術展▽県
知事賞11太田潤▽全国総文祭
宮崎大会(22年)出品決定11
杉浦崇文▽創立100周年記念
事業「ようこそ先輩」トーク
&ウォッシュ・プロジェクト
を開催(高6回麦倉忠彦さん
と高26回高橋浩史さんの作品
の解説とメンテナンス)

【書道部】
▽全国総文祭三重大会(21年)
出品11小川陽一▽県書道展▽
全国総文祭宮崎大会(22年度)

【吹奏楽部】
▽県コンクール(B部門)銀
賞受賞

【囲碁将棋同好会】
▽囲碁選手権県予選▽団体③
春高▽個人⑧杉原▽将棋選手
権県予選▽個人⑥久野▽県将
棋王位⑦本沢

【新開部】
部員不在で休刊していた
「春高新聞」が5年ぶりに復刊

【物理部】
▽ARDF競技東関東・東北
地区予選▽団体③春高▽個人
⑦池山▽県アマチュア無線コ
ンテスト団体①春高▽個人①
御厨②池山⑤江刺家、葭原、
鈴木▽ARDF全国大会▽高
校の部⑤春高

【物理部】
▽ARDF競技東関東・東北
地区予選▽団体③春高▽個人
⑦池山▽県アマチュア無線コ
ンテスト団体①春高▽個人①
御厨②池山⑤江刺家、葭原、
鈴木▽ARDF全国大会▽高
校の部⑤春高

の4種目に出場
【定時制サッカー部】
県大会準優勝、全国大会(静
岡)に出場。堺市立堺・同第
二工業高校(大阪)4▽0春高

出品決定11山田雄大
【物理部】
▽ARDF競技東関東・東北
地区予選▽団体③春高▽個人
⑦池山▽県アマチュア無線コ
ンテスト団体①春高▽個人①
御厨②池山⑤江刺家、葭原、
鈴木▽ARDF全国大会▽高
校の部⑤春高

▽県コンクール(B部門)銀
賞受賞

【囲碁将棋同好会】
▽囲碁選手権県予選▽団体③
春高▽個人⑧杉原▽将棋選手
権県予選▽個人⑥久野▽県将
棋王位⑦本沢

NEW 春高グッズ

ご希望の方は事務局(048-760-1627)までお電話ください



DVD「大河滔々～春日部高校の一世紀～」100周年記念ビデオを鮮明なDVD化したもの。約45分 ナレーター/青島 健太 頒価1,000円 送料200円



春高タオル(41cm×116cm) エンジ地の白抜き文字 2種類 頒価1,200円 送料400円



春高Tシャツ エンジ地に白文字 サイズ/S M L LL 頒価1,500円 送料400円

★「真珠湾」に散った先輩
いまから68年前の昭和16年12月8日、旧日本軍がハワイ

の4種目に出場
【定時制サッカー部】
県大会準優勝、全国大会(静岡)に出場。堺市立堺・同第二工業高校(大阪)4▽0春高

出品決定11山田雄大
【物理部】
▽ARDF競技東関東・東北地区予選▽団体③春高▽個人⑦池山▽県アマチュア無線コンテスト団体①春高▽個人①御厨②池山⑤江刺家、葭原、鈴木▽ARDF全国大会▽高校の部⑤春高

【バドミントン部】
▽関東大会県予選▽団体2回戦11春高2▽0桶川▽3回戦11武蔵越生2▽1春高▽県新人大会▽団体戦11春高3▽0坂戸、川口東3▽2春高

【美術部】
▽全国総文祭三重大会(21年)出品11太田潤▽県美術展▽県知事賞11太田潤▽全国総文祭宮崎大会(22年)出品決定11杉浦崇文▽創立100周年記念事業「ようこそ先輩」トーク&ウォッシュ・プロジェクトを開催(高6回麦倉忠彦さんと高26回高橋浩史さんの作品の解説とメンテナンス)

【吹奏楽部】
▽県コンクール(B部門)銀賞受賞

【囲碁将棋同好会】
▽囲碁選手権県予選▽団体③春高▽個人⑧杉原▽将棋選手権県予選▽個人⑥久野▽県将棋王位⑦本沢

★川内選手「東京」で快走
春高定時制の事務主事・川内優輝さん(23歳)が、今年2月の東京マラソンで4位入賞と大健闘した。参加資格をクリアしたエリート選手として出場。藤原正和選手や佐藤敦之選手ら日本のトップランナーと接戦を演じ、冷雨の中2時間12分36秒で4位入賞。2位との差はわずか2秒だった。学習院大の時、関東学連選抜の一員として2回箱根駅伝の6区を走り、区間3位と6位。「市民ランナーでも2時間10分を切れることを見せたいと思います。次回は福岡国際に出ます」旧鷲宮町在住。

真珠湾の米軍基地を攻撃し、太平洋戦争が勃発。奇襲攻撃の戦果の陰に、60人の日本の若者が命を落としたが、その一人に春高の卒業生がいる。中37回(昭和14年卒)の厚見峻(たかし)さん(春日部市)だ。零式艦上戦闘機に搭乗し米軍基地などを急降下銃撃したが、攻撃後、地上からの対空砲火を浴びて、オアフ島沖に墜落し戦死した。20歳1カ月の若さだった。厚見さんの姉・中條果子(あきこ、90歳)さんが、奇しくも春高正門わきに在住している。12年ほど前同窓会事務局が「春日部高校百年史」で取材したが、昨年12月8日の「埼玉新聞」の社会面で、大きく報じられた。

★プロ野球選手が4人
春高出身のプロ野球選手が4人いる。第1号は高5回の江原清治さん(故人)。広島カープ2軍の外野手で、4番を打つ。2人目は高6回の堀内平一(旧姓飯山)さん。毎日オリオンズ(現在ロッテ)に入団。2年目で三塁のレギュラーの位置を確保し、長打力のある野手として鳴らす。

高22回の木下富雄さんが3人目。駒沢大からドラフト1位で広島カープに。内野手として20年間レギュラー。現役。コーチでリーグ優勝を6回果たす。4人目が青島健太さん(高29回)。慶応大と東芝で活躍した後、ヤクルトに入る。プロ初打席でホームランという華やかなデビュー。現在スリーライターの活躍中。



▼平成の市町村合併がほぼ終わりましたが、春高同窓会の支部(春高会)の組織は、自治体の合併とは関係なく、従来の形で行うことになっています。たとえば、久喜、菖蒲、栗橋、鷲宮、北川辺などの支部はそのまま活動することが、数年前の役員会や総会で審議され、了承されました。

春高人物風土記

(27)

高16

高16回 (昭和39年卒業)

白岡町の荒木利宏さんは、在学中バドミントン部の主将として、団体戦・ダブルス・シングルスと県内の大会のタイトルを独占。関東大会ベスト8、インターハイに出場。国体強化選手にもなり、県体有功労賞を受賞。本校の県体総合4連覇に貢献。卒業後ホテル・ニューオータニに入社し、国際的な接客の基本を学ぶ。その後、わが国で唯一の客船運航会社の商船三井に入社。南米定期船あるぜんち丸や見本市船さくら丸、青年の船初代につぼん丸に乗船した後、来るべき観光クルーズの礎を築く。後にビル管理会社に移り、定年退職。本校の安積得也先輩の「君あり僕あり仲間貴し」を座右の銘とし、地域の奉仕活動に励んでいる。

春日部市(旧庄和町)の伊能睿(さとし)さんは、東京大学医学部に進み、脳神経外科医として東大病院、獨協医科大学等で、診察、教育、研究に専念したのち、46歳で埼玉県の行政分野に転進。吉川保健所長、医療整備課長、健康福祉部長、県立病院事業管理者等の要職を歴任した。その間、一貫して埼玉県の医療水準の向上に尽力してきた。「現在の医師不足に象徴される医療危機は、多くの要因があって一言では言えないが、単純に医師養成数の増だけで問題を

解決することはできないことだけは確か」。現在、県衛生研究所長、県庁春高会の会長。春日部市(旧庄和町)出身の遠藤和夫さんは、高校に入ってから柔道を始め、3年時には愛媛インターハイと山口国体に出場して、好成績を納めた。「特に主将の磯部邦昭さん(故人)と二人で国体に参加できたことを誇りに思う。春高での苦しい練習がその後の人生を楽しくしてくれた」と述懐している。大学卒業後、

総務省に勤務。行政監視の仕事ひとすじに、北海道から九州まで全国各地で手腕を発揮してきた。現在は静岡県熱海市に在住。熱海まち歩きガイドの会や熱海検定を立ち上げて、その推進に尽力している。さいたま市浦和区の粕谷太郎さんは、千葉工業大学工学部を卒業後、鉄建建設(株)に入社。東京を中心に都市トンネル建設工事に従事。昭和47年わが国の都市部で初の泥水式シールド工法の開発に主任技術者として参画したが、それ以降この工法は都市トンネルの主要工法として世界各国で使われている。平成21年末に

つているが、「なかなかうまくなれなくて」と謙そん。久喜市(旧栗橋町)の木村徹男さんは、在学中卓球部の主将としてインターハイ県予選にのぞみ、シングルでベスト4、ダブルスで準優勝をしたが、インターハイには出場できず、大変悔しい思いが残っていると言う。立教大学に進み、サークル活動の部屋の隣に偶然同期で後の幸手市長になった増田実君がいた。卒業後、高島屋に入社。大宮店の開店や日本橋店、通信販売と34年間主にインテリア畑を歩んできた。特にニューヨーク研修一人歩きやバンクーバー

への出張が印象に残る。退職後マンション管理会社に入社。毎日約1万歩ほど歩くので、メタボの心配はまったくない。春日部市の君塚潔さんは、日本大学歯学部を卒業。医局に在籍した後、春日部市武里団地センターにセントラル歯科を開業。歯科博士、保存治療認定医。当時人口が密集し若い世代の住民から今では高齢化と少子化により、患者層や診療の内容も大分変わってきた。今夏には中心街の再開発により当診療所を新に移設し、次の時代を迎える。在校のころは吹奏楽部に在籍。後

前に団地で5人で立ち上げた小さな楽団が今や30人あまり。春日部交響楽団の団長として今年で18回目の定期演奏会を開いた。現在はピアノを中心とした弦楽器担当。「音響抜群の本校の音楽ホールで何回も演奏させていただいたが、このホールから芸術性の高い文化が生まれ育ってほしい」と願っている。

さいたま市岩槻区の倉持昌男さんは、在校のころ柔道部で得意技の左内股、右背負い投げを駆使し先鋒として活躍。3年時には関東大会ベスト8、愛媛インターハイでは念願の予選トーナメントを突破し、

面科を卒業後、アメリカに渡り、ニューヨークのテレビ局美術部でデザイナーとして活動しながら、絵画を勉強を続ける。渡米したのは「伝統とは何かを考えた際、アメリカで私なりのオリジナルテイーを見つけたと思ったから」という。その後太平洋側のワシントン州に居を移し、ロッキーマウンテンなど西部を素材に絵を描き続けた。広大なアメリカ大陸の自然を日本画の岩絵の具を使って描く異色の画家として知られる。美術評論家の村瀬雅夫さんは「日本画の大いなる変容を予感させる。世界に立ち向かった新しい日本画像を私たちはこの作品群から告げられる」と賛辞を寄せている。平成15年アメリカで病死。回顧画集が妹さんから同窓会に寄贈され、本校内に展示されている。

さいたま市大宮区出身の渋谷道夫さんは、在校中野球部の4番でキャプテンとして春の県大会でのベスト4入りに貢献した。早稲田大学商学部を卒業、同大学大学院修士課程を修了後、公認会計士になり、新日本監査法人に勤務。アメリカに駐在中に、昭和55年アメリカの公認会計士試験にも合格。帰国後は、株式会社を開き目指す会社の支援や大会社の会計監査等を行うかたわら、「アメリカの会計実務詳解」(中央経済社)と「英文決算書入門」(日本経済新聞社)の著書2冊を出版した。日本でナンバーワンの新日本監査法人で常任理事として経営のメンバーでもあったが、昨年

関根勝さん東西文化融合を追求 公認会計士として活躍の渋谷さん

退職し、会計事務所を都内に開く。神奈川県藤沢市に在住。春日部市(旧庄和町)の関根万喜男さんは、在学中陸上部に所属し、毎日グラウンドを走り体を鍛えることができた。東邦大学医学部を卒業。東京女子医科大学の内科医局(糖尿尿病センター)に7年間勤務し、父の後を継ぎ開業。その間庄和町医師会会長を10年間務め、地域医療に貢献する。今は同会の顧問として会員の指導にあたっている。長生きの秘訣として食事とウォーキングを心がけ、もう走ることはないが、旅先で名所旧跡を歩き回るのを楽しみにしている。

越谷市出身の関根勝さんは、「忘れが路線」を歩いてきた。働くのが嫌で、早稲田大学に在学10年、英国留学2年と、大学生として12年を過ごす。その後、出勤簿のない大学の教員になる。英国留学中の指導教授の一人娘と結婚、住居を英国に移して、早稲田に上京すること25年。その間、早稲田博物館の助手や文学部講師、政治経済学部の助教授、教授を務める。8年ほど前に「家を追い出されて日本に退去」。現在、国際教養学術院の教授。Theatre Project S.I.を主宰し、舞台上での東西文化融合を試みている。シエイクスピアの悲劇を翻案し、オペラ歌手と狂言師を使い、日本と西洋楽器を一つずつ使い、舞台化する中で世阿弥が言った「花」を追求している。現在は東京都港区に在住。

さいたま市見沼区の富山徳一さんは、在学中は音楽部に

同窓会事務局では、粕中時代の古い「会報」(学友会発行)の欠号を探しています。大正12年と同13年発行の号をお持ちの方は、ご家族が残されている方は、ご連絡ください(TEL 048-760-1627)。校舎火災で消失してしまい、本校の歴史を調べる上で困っています。コピーしてすぐお返ししますので、よろしくお願いします。

春高同窓会だより

在籍し、春高祭では同期生8人と軽音楽を演奏し大いに盛り上げた。芝浦工業大学建築科を卒業。住宅設計を中心に活動し、住宅雑誌に作品を発表する。卒業後、旧大宮市に勤務して建築指導課長等を歴任し、その間、芝浦工大の非常勤講師を務める。旧大宮市最後の都市計画部長を務める。3市合併による政令指定都市さいたま市では、土木部・下水道部・建築部を所管する初代建設部長となる。定年を待たずに退職し、現在地元大宮のDOMショッピングセンターの代表取締役社長を務めている。同窓会の本部役員。

蓮田市出身の名越政彦さんは、中学3年の秋に神奈川県から転校してきたのでカリキュラムの違いなどから高校受験に困惑した思い出がある。春高のころは仲間と1時間の自転車通学。東海大学建築科を卒業後、埼玉県庁に入り、技術職として県営住宅や春高をはじめ県立施設整備を担当。昭和62年川口市に出向し、駅前のリリア建設や再開発事業など街づくりに貢献。県での思い出に残る仕事は、施設課長時代98年のワールドカップ・フランス大会を視察し、4年後の開催場・埼玉スタジアム(6万3千人収容)を着工から完成まで担当したこと。平成17年県土整備部副部長を最後に退職。その後民間建築検査機関の役員を歴任。趣味のゴルフは、年間30ラウンドを超える。熊谷市在住。

幸手市の中川晃さんは、在学時は吹奏楽部に所属。3年時には部長として初のコンクールに出場し、県大会2位、関東大会6位の成績を取めた。東京教育大学(現筑波大)文学部を卒業後、高校の社会科学部となり、久喜高、不動岡女子高、杉戸高の3校を経て昭和61年に県教育局に入局。高等学校教育課事務係で生徒急増急減期の募集計画を策定する。その後、大宮南高の教頭を経て、再び県教育局へ。文教政策室、高校教育改革推進室を経て、白岡高校長を2年間務めた後、三度目の教育局入局。指導第二課主任指導主事、高校教育課長、指導部次長、指導部長を経て、県立総合教育センター所長で定年を迎えた。平成11年9月春高の新社舎開きセレモニーに県教育委員会の代表として列席して、テープカットをした。

蓮田市の中野和信さんは、在学のころ3年間往復20キロの自転車通学で無遅刻・無欠席で皆勤賞を受ける。法政大学を卒業後、蓮田市役所に勤務。財政課長や市民経済部長、水道部長、都市整備部長など要職を歴任。平成18年に蓮田市長選に当選。「街の活性化と安心・安全な都市づくりのため」に尽力してきた。蓮田駅西口の再開発事業をはじめ、東北道の蓮田サービスエリアへのスマートインターチェンジ開設事業、小中学校施設の耐震化事業、国指定史跡の黒浜遺跡の公有化などを進めてきた。「まだやりかけの事業がある。完成させる道筋をつきたい」と2期目も意欲的だ。

蓮田市の野口行雄さんは、東北大学医学部卒業。東北大学病院の第一内科に入局。その後長崎大学付属病院に。抗生物質の研究で学位をとる。昭和58年に埼玉県立がんセンター呼吸器内科に移り、臨床検査部部長、呼吸器科部長。喫煙粒子(タール)は口や喉に付着して飲み込まれるが、両切りタバコの方が多く胃がんができやすいと言っている。「人はなぜがんになるのか」が私の研究テーマとなった。きっかけ「ガン治療には限界があり、抗ガン剤が放射線治療する手術不能進行ガンは、現代の進歩した医学でも助けるのは困難。タールでガンができることは、すでに証明されている。タールは植物の不完全燃焼ででき、タバコやお線香、燻製食品などが身近にある」と言う。著書は『臨床呼吸器病講座第2巻』(金原出版)『ペニシリン系抗生物質』(医薬ジャーナル社)など多数。

蓮田市の増田実さんは、春高時代は水泳部で活躍、運動会の走り高跳びで陸上部員にも負けない記録(身長以上を跳ぶ)を出したので、忍者者」として知られていた。防衛大学校に進学。陸上自衛隊に任官し、各種専門教育を受ける。特に米国陸軍の武器誘導課程を修め、各種ミサイルの指導教官として勤務。定年退職後は、中学時代から学んでいた古武道を生かし、米国メリーランド州ボルティモア市に移住して道場を開き、指導者として活動。4年前に帰国し故郷の野田市に道場を開いて、各種の古武道を指導するとともに現在も自然館(じねんかん)の館長(間中雲水)として、アメリカやヨーロッパを中心に、年数回の海外指導を行っている。

幸手市の増田実さんは、春高時代は水泳部で活躍、運動会の走り高跳びで陸上部員にも負けない記録(身長以上を跳ぶ)を出したので、忍者者」として知られていた。防衛大学校に進学。陸上自衛隊に任官し、各種専門教育を受ける。特に米国陸軍の武器誘導課程を修め、各種ミサイルの指導教官として勤務。定年退職後は、中学時代から学んでいた古武道を生かし、米国メリーランド州ボルティモア市に移住して道場を開き、指導者として活動。4年前に帰国し故郷の野田市に道場を開いて、各種の古武道を指導するとともに現在も自然館(じねんかん)の館長(間中雲水)として、アメリカやヨーロッパを中心に、年数回の海外指導を行っている。

草加市の矢島民夫さんは、春高時代生物部で活躍。東邦大学理学部生物科を卒業。埼玉県立高校教員として、不動岡高定時制や八潮高、越谷西高、春日部東高、鳩ヶ谷高に勤務。登山が趣味で、現在も百名山の登頂を目指し、年数回の山行を続けている。また、県内の動植物調査も続けており、過去に昆虫の新種記載、埼玉県動植物誌や1988年版の埼玉県植物誌の調査委員、八潮市史「自然編」の編集や岩槻市文化財調査委員などを務める。越谷市の自然観察会など地域の自然保護にも活躍。平成14年から草加春高会の幹事長。同窓会本部役員。

蓮田市の山下(旧姓新井)智さんは、上智大学経済学部在学中に1年間の世界放浪の旅を敢行し、ヒッチハイクで36か国を巡ったという。卒業後、外資系のNCR社に入社し、端末機などの製品開発に携わる。その間、二度米国本社勤務を経験。最初は昭和62年から3年間、二度目は平成5年から2年間と通算5年間の海外勤務を通して、国際ビジネスにチャレンジした。退職後は、カウンセラー資格を取得し5年間のカウンセラーを経て、現在は新たにプロジェクト・マネジメントの国際資格を取得。SEMエグゼクティブなどの教育にかかわり、講師業務を行いながら後進の育成に努めている。

松伏町の若盛正城さんは、大正大学文学部を卒業。奈良の長谷寺で修行し、父親の跡を継ぎ、真言宗豊山派宝珠院の住職となる。昭和49年まぶし幼稚園を開園。地域の幼児教育の活性化を目指し、園長として活動する。平成19年に保育園を併設し、幼保一体園(埼玉県幼保連携型第一号)を運営して、全国的に知られている。毎日小さい園児とふれあうことが元気を保つ秘訣のようで、現在も松伏町教育委員をはじめ、NPO法人全国認定こども園協会の代表理事などの要職をこなしている。

野田市の渡邊孝さんは、陸上部のマネジャーとして選手としての活動を支えた。キックコマ(株)外食部門の役員に就任。その後45歳で独立して、コマスタ・ドーム(株)の社長に就任。カスタマーバリエーション(顧客が適正だと認める価値)の仕掛け人として、異業界からも講演依頼が続ぎ、マスコミに数多く出演。著書に『レストラのサービス・ホスピタリティの教科書』(長崎出版)。現在エントラティメント・レストランとして、コマスタ野田本店、流山おたかの森店を展開しながら、千葉県地域資源認定の枝豆と醤油をテーマに「まちづくり地域活性化」を全国に幅広く実施している。

この企画記事は、該当学年の有志が話し合っ、一定の基準を設けて掲載する人たちが決めて、取材したり、原稿を依頼したりして、編集人と一緒に記事にしたものです。(文責中村行生)

谷は蓮田市の地名とのこと。蓮田市の中野和信さんは、在学のころ3年間往復20キロの自転車通学で無遅刻・無欠席で皆勤賞を受ける。法政大学を卒業後、蓮田市役所に勤務。財政課長や市民経済部長、水道部長、都市整備部長など要職を歴任。平成18年に蓮田市長選に当選。「街の活性化と安心・安全な都市づくりのため」に尽力してきた。蓮田駅西口の再開発事業をはじめ、東北道の蓮田サービスエリアへのスマートインターチェンジ開設事業、小中学校施設の耐震化事業、国指定史跡の黒浜遺跡の公有化などを進めてきた。「まだやりかけの事業がある。完成させる道筋をつきたい」と2期目も意欲的だ。

蓮田市の野口行雄さんは、東北大学医学部卒業。東北大学病院の第一内科に入局。その後長崎大学付属病院に。抗生物質の研究で学位をとる。昭和58年に埼玉県立がんセンター呼吸器内科に移り、臨床検査部部長、呼吸器科部長。喫煙粒子(タール)は口や喉に付着して飲み込まれるが、両切りタバコの方が多く胃がんができやすいと言っている。「人はなぜがんになるのか」が私の研究テーマとなった。きっかけ「ガン治療には限界があり、抗ガン剤が放射線治療する手術不能進行ガンは、現代の進歩した医学でも助けるのは困難。タールでガンができることは、すでに証明されている。タールは植物の不完全燃焼ででき、タバコやお線香、燻製食品などが身近にある」と言う。著書は『臨床呼吸器病講座第2巻』(金原出版)『ペニシリン系抗生物質』(医薬ジャーナル社)など多数。

蓮田市の増田実さんは、春高時代は水泳部で活躍、運動会の走り高跳びで陸上部員にも負けない記録(身長以上を跳ぶ)を出したので、忍者者」として知られていた。防衛大学校に進学。陸上自衛隊に任官し、各種専門教育を受ける。特に米国陸軍の武器誘導課程を修め、各種ミサイルの指導教官として勤務。定年退職後は、中学時代から学んでいた古武道を生かし、米国メリーランド州ボルティモア市に移住して道場を開き、指導者として活動。4年前に帰国し故郷の野田市に道場を開いて、各種の古武道を指導するとともに現在も自然館(じねんかん)の館長(間中雲水)として、アメリカやヨーロッパを中心に、年数回の海外指導を行っている。

草加市の矢島民夫さんは、春高時代生物部で活躍。東邦大学理学部生物科を卒業。埼玉県立高校教員として、不動岡高定時制や八潮高、越谷西高、春日部東高、鳩ヶ谷高に勤務。登山が趣味で、現在も百名山の登頂を目指し、年数回の山行を続けている。また、県内の動植物調査も続けており、過去に昆虫の新種記載、埼玉県動植物誌や1988年版の埼玉県植物誌の調査委員、八潮市史「自然編」の編集や岩槻市文化財調査委員などを務める。越谷市の自然観察会など地域の自然保護にも活躍。平成14年から草加春高会の幹事長。同窓会本部役員。

蓮田市の山下(旧姓新井)智さんは、上智大学経済学部在学中に1年間の世界放浪の旅を敢行し、ヒッチハイクで36か国を巡ったという。卒業後、外資系のNCR社に入社し、端末機などの製品開発に携わる。その間、二度米国本社勤務を経験。最初は昭和62年から3年間、二度目は平成5年から2年間と通算5年間の海外勤務を通して、国際ビジネスにチャレンジした。退職後は、カウンセラー資格を取得し5年間のカウンセラーを経て、現在は新たにプロジェクト・マネジメントの国際資格を取得。SEMエグゼクティブなどの教育にかかわり、講師業務を行いながら後進の育成に努めている。

松伏町の若盛正城さんは、大正大学文学部を卒業。奈良の長谷寺で修行し、父親の跡を継ぎ、真言宗豊山派宝珠院の住職となる。昭和49年まぶし幼稚園を開園。地域の幼児教育の活性化を目指し、園長として活動する。平成19年に保育園を併設し、幼保一体園(埼玉県幼保連携型第一号)を運営して、全国的に知られている。毎日小さい園児とふれあうことが元気を保つ秘訣のようで、現在も松伏町教育委員をはじめ、NPO法人全国認定こども園協会の代表理事などの要職をこなしている。

野田市の渡邊孝さんは、陸上部のマネジャーとして選手としての活動を支えた。キックコマ(株)外食部門の役員に就任。その後45歳で独立して、コマスタ・ドーム(株)の社長に就任。カスタマーバリエーション(顧客が適正だと認める価値)の仕掛け人として、異業界からも講演依頼が続ぎ、マスコミに数多く出演。著書に『レストラのサービス・ホスピタリティの教科書』(長崎出版)。現在エントラティメント・レストランとして、コマスタ野田本店、流山おたかの森店を展開しながら、千葉県地域資源認定の枝豆と醤油をテーマに「まちづくり地域活性化」を全国に幅広く実施している。

この企画記事は、該当学年の有志が話し合っ、一定の基準を設けて掲載する人たちが決めて、取材したり、原稿を依頼したりして、編集人と一緒に記事にしたものです。(文責中村行生)

東京春高会は、毎年11月の第2金曜日に開かれています。30歳40歳代を中心に、20歳代から70歳代まで幅広い年代が参加。同窓生なら誰でも参加できますが、この会での出会いをビジネスに活かしている人が多い。今年11月12日(金)19:00~、KKRホテル東京(竹橋)、連絡先(24回・飯島真也) Email sijijima1rad@gmail.com

賛助金納入の方々(21年度)

21年4月1日〜22年3月31日

(再は再納金、敬称略)

《中27》鈴木善吉(再)

《中35》関根将雄(再)、渡辺賢三(再)

《中36》山本吉蔵(再)

《中37》酒巻久衛(再)、野崎正雄(再)、六角茂信(再)

《中40》三角幸雄

《中41》金子謹一(再)

《中42》岩井信男(再)、山本福蔵(再)

《中43》平井悞祐(再)

《中44》秋元茂(再)、浅井次雄(再)、新井馨、斎藤力、台壮二郎(再)、藤波襄二(再)、三枝安茂(再)

《中45》恩田耕(再)、樺田和雄(再)、小島龍男(再)、鹿間邦蔵、里見義弘(再)

《中47》石塚忠夫(再)、関根祥六(再)、松井克彦(再)

《中48》大関潤一郎(再)、宮田光雄(再)

《併中1》永野勝美

《高1》川島秀治(再)、斎藤

信義、杉橋徳三郎(再)

《高2》岩井道也(再)、深井清司(再)

《高3》安孫子保(再)、安部晴介(再)、会田茂(再)、荒井英夫(再)、荒木貞行(再)、新井米雄(再)、大沢賢治、黒田安昌、佐藤宣夫(再)、逆井寛(再)、田中毅一、田中啓一(再)、堤喜一(再)、中山昇(再)、西角井正大(再)

《定3》横溝孝二(再)

《高4》石井紀一(再)、小島

混(再)、鈴木喜三郎、種村貞敏、中村嘉男(再)、野口啓樹(再)、野口多嘉夫(再)、山口正利(再)

《高5》新井一裕、江森米蔵(再)、後藤均(再)、田中経郎(再)、中山良吉(再)、半田幸平(再)、番場昇、松本啓、安武忠正(再)

《岩家5》横山喜美子

《高6》梅沢恒夫(再)、遠藤裕久(再)、金子弘(再)、小室尚彦、武井章(再)、都築格、

《高12》荒井正男、今井宏(再)、白木博信、小川正行(再)、小島務、田島重夫(再)、高野利三郎(再)

《高11》天野良作(再)、入江辰夫、染谷道夫(再)、三原元

《高10》石川彰、大熊檀一、齋藤卓三、塩野正直(再)、関秀夫(再)、田口進(再)、田中弘(再)、戸邊賢(再)、堀沢秀夫(再)、松金由忠(再)、森仁三(再)、森田武夫(再)

《高9》相島英雄(再)、飯塚教央(再)、嶋村喜有(再)、田中信之助(再)、平原隆秀、深井史明、村田勸(再)、山田良男

《高8》青木晋(再)、石井正夫、稻生均(再)、加藤寿一、小林暢生(再)、小林教雄(再)、齋藤芳男(再)、清水孝悦(再)、関根三彦、戸井田熙(再)、横川明広、横田勝

《高7》飯島生穂(再)、小川正樹、小林正弘(再)、齋藤俊郎(再)、田中伸宣(再)、藤沼庄平、細谷卓良(再)

《高6》筒井孝一

《高5》飯島生穂(再)、小川正樹、小林正弘(再)、齋藤俊郎(再)、田中伸宣(再)、藤沼庄平、細谷卓良(再)

《高4》石井紀一(再)、小島混(再)、鈴木喜三郎、種村貞敏、中村嘉男(再)、野口啓樹(再)、野口多嘉夫(再)、山口正利(再)

《高3》安孫子保(再)、安部晴介(再)、会田茂(再)、荒井英夫(再)、荒木貞行(再)、新井米雄(再)、大沢賢治、黒田安昌、佐藤宣夫(再)、逆井寛(再)、田中毅一、田中啓一(再)、堤喜一(再)、中山昇(再)、西角井正大(再)

《高2》岩井道也(再)、深井清司(再)

《高1》川島秀治(再)、斎藤

平本信義(再)、福井幸右エ門(再)、松永功(再)、麦倉忠彦

《定6》筒井孝一

《高7》飯島生穂(再)、小川正樹、小林正弘(再)、齋藤俊郎(再)、田中伸宣(再)、藤沼庄平、細谷卓良(再)

《高8》青木晋(再)、石井正夫、稻生均(再)、加藤寿一、小林暢生(再)、小林教雄(再)、齋藤芳男(再)、清水孝悦(再)、関根三彦、戸井田熙(再)、横川明広、横田勝

《高9》相島英雄(再)、飯塚教央(再)、嶋村喜有(再)、田中信之助(再)、平原隆秀、深井史明、村田勸(再)、山田良男

《高10》石川彰、大熊檀一、齋藤卓三、塩野正直(再)、関秀夫(再)、田口進(再)、田中弘(再)、戸邊賢(再)、堀沢秀夫(再)、松金由忠(再)、森仁三(再)、森田武夫(再)

《高11》天野良作(再)、入江辰夫、染谷道夫(再)、三原元

《高12》荒井正男、今井宏(再)、白木博信、小川正行(再)、小島務、田島重夫(再)、高野利三郎(再)

《高10》石川彰、大熊檀一、齋藤卓三、塩野正直(再)、関秀夫(再)、田口進(再)、田中弘(再)、戸邊賢(再)、堀沢秀夫(再)、松金由忠(再)、森仁三(再)、森田武夫(再)

《高9》相島英雄(再)、飯塚教央(再)、嶋村喜有(再)、田中信之助(再)、平原隆秀、深井史明、村田勸(再)、山田良男

《高8》青木晋(再)、石井正夫、稻生均(再)、加藤寿一、小林暢生(再)、小林教雄(再)、齋藤芳男(再)、清水孝悦(再)、関根三彦、戸井田熙(再)、横川明広、横田勝

《高7》飯島生穂(再)、小川正樹、小林正弘(再)、齋藤俊郎(再)、田中伸宣(再)、藤沼庄平、細谷卓良(再)

《高6》筒井孝一

《高5》飯島生穂(再)、小川正樹、小林正弘(再)、齋藤俊郎(再)、田中伸宣(再)、藤沼庄平、細谷卓良(再)

《高4》石井紀一(再)、小島混(再)、鈴木喜三郎、種村貞敏、中村嘉男(再)、野口啓樹(再)、野口多嘉夫(再)、山口正利(再)

《高3》安孫子保(再)、安部晴介(再)、会田茂(再)、荒井英夫(再)、荒木貞行(再)、新井米雄(再)、大沢賢治、黒田安昌、佐藤宣夫(再)、逆井寛(再)、田中毅一、田中啓一(再)、堤喜一(再)、中山昇(再)、西角井正大(再)

《高2》岩井道也(再)、深井清司(再)

《高1》川島秀治(再)、斎藤

夫(再)、永楽秀昭、細沼晃、松永文磨

《高13》安孫子征(再)、明石吉三、小森谷英昭(再)、齋藤雅夫(再)、真々田富男(再)

《高14》飯野保男(再)、榎本善保、小倉行男(再)、齋藤正司(再)、坂巻國男(再)、逆井甚一郎(再)、島村敏男(再)、白石光征(再)、羽鳥均(再)、堀井東

《高15》大越和孝、太田暉人(再)、岡田征史(再)、鬼久保勝臣(再)、小沼英延、清水猛(再)、染谷武(再)、塚本正(再)、長塩貫(再)、二宮靖男(再)、吉澤浩司(再)

《高16》秋庭毅(再)、齋藤繁人、富山徳一(再)、野口行雄

《高17》神田修、富山昌史(再)

野口淳一(再)

《高18》木村恒夫(再)

《高19》大久保武雄(再)、倉持誠(再)、高鹿栄助(再)、小林秀樹(再)、田中謙吉、日森文尋(再)

《高20》卯原義夫(再)、齋藤達夫、鈴木清(再)、浜野光之、日向英実

《定20》斎藤昇

《高21》市川祐三(再)、遠藤繁、小島正夫(再)、篠原通、山崎達雄

《高22》吉田静邦(再)

《高23》荒木弘行(再)、川島道男、中山登司男(再)、野口俊男(再)

《高24》嶋村文昭(再)、戸張正雄(再)、蓮見博之

《高25》会田保俊、栗林徹

《高26》飯島健司、大熊昭(再)、高橋孝志(再)、中村嘉男(再)

《高27》大木裕史(再)、椎葉祐司、鈴木徹(再)、林正大

《高28》田島宏一、原嶋久光(再)

《高29》金久保真澄(再)

《高30》浅川喜裕(再)、石井俊一(再)、石鍋尚夫、小野寺広

蓮見俊彰(再)、渡邊尚(再)

《高31》青木康二郎(再)、齋藤俊雄、中島淳二(再)、中村亨

《高32》石川広巳、瀬能岳夫、田中和彦(再)

《高34》伊藤豊、小肥実(再)、林宗博、矢倉幸久(再)

《高35》田中祐一

《高36》河野富美男(再)、宮

崎政久、森忠義、山田将也

《高37》星哲哉(再)、穂波俊安(再)

《高39》小出孝治(再)、加藤弘昭(再)、高木竜二、田中清、平形昌之

《高40》今井徹、田村克巳、千葉敦司、藤縄祐、益本誠二、水谷哲弥、森丘保典(再)

《定53》井上喜代子

振込用紙同封にご理解を

再納金の要望がありましたので、すでに納入された方も含めて全員の方に、昨年からの振込用紙を同封しております。ご理解ご協力をお願いいたします。

【平成21年度同窓会会計決算報告(案)】

期間：平成21年4月1日〜22年3月31日

Table with financial data: 歳入総額 15,726,132円, 歳出総額 13,875,518円, 繰越金 935,474円, 累計積立金 7,300,000円

《歳入の部》

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 決算額, 摘要. Rows include 会費, 入会金, 賛助金, 寄付金, グッズ金, 雑収入, 繰越金, 繰入金, 合計.

《歳出の部》

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 決算額, 摘要. Rows include 事務費, 会議費, 事業費, 慶弔費, グッズ製作費, 積立金, 雑費, 予備費, 合計.

▼今後、会計監査をへて、役員会と総会で審議していただく
▼HCD=総会時のホーム・カミング・デー(母校へ帰る日)事業

細井さん(20回)優勝 同窓会ゴルフコンペ

第63回同窓会ゴルフコンペ (22年4月15日千葉CC川間) 優勝 細井喜久雄(20回) 2位 田口義明(31回) 3位 関一美(11回) 4位 陶章司(32回) 5位 小島秀夫(13回) 6位 飯塚和雄(16回) 7位 岩崎昌蔵(11回) 8位 小川秀雄(9回) 9位 森田武夫(10回) 10位 岩崎文庫(10回) B G 80戸井田哲(17回) シニアの部(11回以上) 優勝 岩崎昌蔵(11回) 2位 小川秀雄(9回) 3位 森田武夫(10回) 参加 100人 次回は10月28日(木)

会員の寄贈著書(21年度)

中47回 関根祥六「写真集・能楽師・芸三代」心を種として(小学館スクウェア) ▼

高1回 村山吉廣「忍藩儒 芳川波山の生涯と詩業」(明德出版) ▼高3回 黒田安昌「弱者の細道を行く」アメリカ中東研究に携わった日本人の研究者(NIHUPログラム) ▼高5回 勝岡只「シーの世界」私のオーストリア皇妃エリザベト像(私家版評伝) ▼高5回 桑島昭「南洋日日新聞」に見るインド兵の反乱(アジア太平洋研究会) ▼高6回 関口安義「羅生門」の誕生(翰林書房) ▼高10回 平本紀久雄「イワシ屋の身辺雑記」(審書房) ▼高11回 大野光政「江戸百景今昔」江戸を歩く(本の泉社) ▼高14回 佐久間健「アサヒビールのCSR戦略」(生産性出版) ▼高15回 齋藤英雄「漱石・龍之介の俳句」(翰林書房) ▼高16回 中田雅敏

「芥川龍之介」小説家と俳人(鼎書房) 「芥川龍之介」文章修業(洋々社) 「高浜虚子」人と文学(勉誠社) 「横光利一」文学と俳句(同) 「漂泊の俳諧師」小林一茶一家族をめぐる愛と悲劇(角川書店) 「幻の花」田舎暮らしと衣食住(飯塚書店) 「句集・帰農雑歌」(蝸牛社) 「大学テキスト」日本文学概論 他5冊(角川学芸出版) ▼高17回 角田彰男「炭焼長者黄金の謎」(原書房) ▼高20回 北村薫「スキップ」(韓国語版) 「元氣でいてよ、R21D2。」(集英社) 「夜蟬」と「空中飛馬」の中国語版 ▼高22回 折原一「行方不明者」(文春文庫) 「叔父殺人事件」(講談社文庫) 「逃亡者」(文藝春秋社) 「クラスルーム」(理論社) 「行方不明者」と「倒錯のロンド」の韓

資料提供者(21年度)

中36回 故熊倉(野本) 弥市卒業アルバム 中47回 故近田幸三書道作品 高16回 故近藤肇回顧画集 高20回 北村薫「直木賞受賞記念の壺」